

平成26年度 東堀切くすのき園 事業報告書

1. 施設運営・支援状況報告

(1) 施設運営

法人理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に基づき、葛飾地区としての協働や地域連携・交流を意識した事業の展開を図った。4月より開始した相談支援事業は徐々に軌道に乗り、利用者理解の深化や地域生活支援の拡充のほか、事業収益の増収にも繋がった。

今年度は、新規の利用開始がなかったため54人によるスタートであったが、ご家族（親）の高齢病弱・家庭での生活支援困難により、2人が入所施設へ異動、また、1人がご家庭での不慮の事故によりお亡くなりになったため、都合3人が退所された。それに対し年度途中で新規入所者がなく、葛飾区の利用調整の結果、次年度4月の新規入所者も0人であったため、平成27年度は定員50人のところ51人の現員で事業開始となる。平成26年度の利用者登園率は前年度を1ポイント上回る88%であった。

職員については、新規採用2人、契約職員からの正規採用1人の布陣であった。職員の不足については契約職員の採用で充当した。サービス管理責任者は支援係長から育休が終わった支援主任へと変更し、利用者支援の進捗管理を行った。嘱託医は、年度途中ではあったが健康上の理由により内科医1人が変更となった。音楽療法士、理学療法士に変更はなかった。常勤、有期契約職員とも雇用状況は安定しており、安定した職員体制が可能であった。年度終盤、法人内新規事業のため支援主任、支援リーダー、栄養士が出向し、勤務経験を活かし事業立ち上げに従事した。

職員の雇用状況の安定の一方で、業務マニュアルの見直しによる業務改善や、効果的で効率的にケアマネジメントを行うためのシステム改善や事例検討方法の開発などが現場からも問題提起され、今年度の福祉サービス第三者評価でも指摘を受けている。日常的なタテ・ヨコのコミュニケーションと相互の育成を強化しつつ、無理・無駄なく働きやすい職場作りを意識しながら、専門職集団としてのイノベーションを図る必要があると考えられる。その延長上に、地区としての新規事業の取り組み（グループホームなど）や地域包括支援実現の道筋があると思われるので、今後とも、葛飾地区や法人本部、関係機関との連携を強めながら研修・学習を深めていきたい。

利用者権利擁護の取り組みについては、葛飾地区としての研修実施や人権に関する研修に参加したほか、朝礼時に職員倫理綱領の読み合わせを継続し、職員間での意識付けと定着を心掛けた。行動制限廃止委員会（虐待防止委員会）では、日々の支援を通じて家族の承認を得ながら行動制限（身体拘束）の範囲縮小やグレーゾーンの検証を継続している。制限全廃には至っていないが、個々の事案の具体的取り組みは大幅に時間が延びるなど改善が見られている。

(2) 支援状況

今年度は、新規利用者はなく54人の現員でスタート、年度途中で3名が退所された。当施設の利用者支援の基本となる活動グループ体制については、利用者の障害状況や行動特性等を考慮した男女別グループを含む5グループ体制を継続し、食事・排泄・静養・運動（機能訓練）・保健といった基本サービスを適切に行う一方で、利用者個々の要望を踏まえた多様な日中活動メニュー（紙すき、陶芸、園芸、絵画、音楽療法、アロマセラピーなど）を提供し、必要に応じてグループ間の連携や混合グループを構成するなどして支援の効果を上げ、利用者満足と情意安定を図ることに努めた。自由な表現活動としての「絵画活動」「ダンス活動」は開始して2年目を迎えたが、利用者の思い思いの心の内が吐露される活動となっている。

アロマセラピーは地域交流行事に発展、絵画活動の作品は地域の亀有学び交流館に継続して展示するなど、地域との接点を持てるようになった。ダンス活動については当施設で白鳥福祉館と合同で行い、白鳥福祉館の作業に当施設利用者が出向いたり、きね川福祉作業所の利用者が当施設の清掃業務に従事するなど、葛飾地区内での支援面での連携も継続した。

家族サポートについては日常生活相談業務をはじめとして嘱託医との健康相談や栄養相談、あるいは、緊急一時入所時の入所施設との連絡調整等、個々の家庭状況や利用者にとっての緊急性に応じて積極的に関与を行った。相談支援事業の開始もその進展に繋がったと考えられる。

土曜開所の状況は、引き続きニーズが高く利用者ご家族から好評を得ている。年間通じての土曜日当園率は79.2%と高率となった。土曜日に年間行事を行うことでの地域交流も意識した。

理美容サービスは5年目を迎え、利用者と施術者との関係性も高まり、安定した支援が出来た。自己都合による長期欠席者の状況は、引き続き家族を含めて支援を継続しているが、家庭内での対応に限界があり改善傾向は見られておらず、相談支援も含めて関わりを続けたい。

(3) サービス評価と苦情解決

福祉サービス第三者評価（評価機関：NPO人材開発機構）については、利用者聞き取り調査、保護者アンケート、職員アンケート、経営層合議を経て、標準項目を全て満たしているとの評価を得た。特に評価された点は、①「発語の困難な利用者の意向を、日常の観察で探り、ストレッチングを大切に自分の意思で選択できるように支援している」、②「現場及び日常業務の現状把握を行い、業務改善課題を整理するなど、職員の働く環境改善に取り組んでいる」、③「地域住民と顔の見える関係作りを通して、地域社会の一員として深い信頼関係を構築している」であった。

さらなる改善が望まれる点は、①「グループホームの設置など生活介護事業のサービスの範囲を超える利用者ニーズの対応に、地域の事業所と連携した取り組みが期待される」、②「利用者のケアマネジメントを効果的に行うため更なるシステム改善や『個別ケアプラン』の完成が待たれる」、③「業務標準化委員会でマニュアル類の見直しを進めており、日常的に活用される取り組みが期待される」が挙げられた。①については地区の重点課題として次年度以降取り組みたい。

利用者・保護者からの相談苦情申し立てに対する対応と第三者委員の取り組みについては、細かい相談や苦情はあったものの、日々の連絡帳や電話等で家庭と密に連絡を取り合っていたため、苦情解決規程に沿った処理を必要とする内容はなかった。第三者委員会は葛飾区社会福祉協議会の加藤 充氏に委員を委嘱し、東堀切くすのき園、白鳥福祉館、きね川福祉作業所の葛飾地区障害福祉関連3施設合同の取り組みとして前年度同様に継続した。

苦情解決責任者 施設長 岡部智彦、
苦情受付担当者 支援係長 本田直記

(4) 情報開示

施設広報誌を月1回の割合で発行した。うち隔月で近隣地域及び関係機関へ配布を行った。引き続き記事内容をビジュアル主体とすることで編集作業の負担軽減と、ご家族・関係者の好評を同時に得ることができた。苦情対応等の報告についても、数値での情報提供が可能となった。事業所のホームページも、逐次現場の担当者ベースで更新作業を行っており、法人・事業所情報をより細かくタイムリーに伝えられるようになっている。

(5) 予算執行状況

相談支援事業を新規開始、約70万円の増収に繋がったが、一方で、定員50名に対し新規利用者なしの54名の現員で開始したところ、年度内に3名が退所され生活介護事業収入の減となった。また、法人の新規事業も考慮した常勤職員と役職の配置増による人件費支出の増額や消費税増税と相まって収支差額の十分な確保には至らなかったが、葛飾区からの運営費・送迎バス補助金、サービス推進費等は利用者状況を踏まえて予定通り得ることが出来、安定経営に努めた。器具備品の購入及び設備改修の実施を一部見送ったが、予定していた法人繰入は実施した。葛飾区補助金については、平成28年度分まで担保されているが、平成29年度には「元区立施設」を対象に見直しの検討が予定されており、推移を見守りたい。

2. 職員の配置と異動の報告

(1) 職員配置報告（平成27年3月31日現在）

(人)

職種	施設長	係長	主任	事務員	支援員	看護師	栄養士	嘱託医	P T	M T	合計
施設	男	1	1	1		9 (4)		(2)	(1)		12 (7)
	女			1	1	9 (7)	1	1	(1)	(3)	13 (11)
計	1	1	2	1	18 (11)	1	1	(3)	(1)	(3)	25 (18)

*嘱託医師3名は、内科医・歯科医・精神科医 * ()内は、有期契約職員

(2) 異動状況 (平成26年4月1日～平成27年4月1日)

(人)

H26.4.1 現在の現員		年度内の正職員動向								H27.3.31 現在の現員		H27.4.1 付 着任			H27.4.1 現在の現員	
		採用		転入		退職		転出								
正職員①②含む A	契約職員※	年度内	4月1日付を再掲①	年度内	4月1日付を再掲②	年度内	3月31日付を再掲③	年度内	3月31日付を再掲④	正職員③④含む	契約職員※	採用⑤	移行者再掲	転入⑥	正職員⑤⑥含む	契約職員※
25	12	3	3	0	0	0	0	5	5	25	11	2	1	3	25	10

※常勤換算人数(小数点以下切り上げ)

職員定数(常勤換算) 40人(H26年度事業計画)

正職員離職率(B÷A) 0%

[所見]

平成26年度は法人の新規事業を考慮した人員配置で開始、平成27年2月から支援主任、支援員、栄養士の3名が出向した。

3. 利用者状況について(平成27年3月31日現在)

(1) 利用者 現員51人(定員50人)

(2) 性別・年齢別等 (人)

	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	計
男	0	3	7	7	5	2	1	0	0	25
女	0	3	5	10	5	1	2	0	0	26
計	0	6	12	17	10	3	3	0	0	51

平均年齢：男 31.4歳 女 31.7歳 全体 31.6歳

(3) 障害程度等 (人)

		愛の手帳												計	
		1度		2度		3度		4度		なし		小計			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
身障手帳	1級	2	2	1	8			1				4	10	14	
	2級		1	3	4							3	5	8	
	3級			1								1		1	
	4級														
	5級														
	6級			2									2	0	2
	なし		1	15	10								15	11	26
小計	2	4	22	22	0	0	1	0	0	0	25	26	51		
計	6		44		0		1		0		51				

(4) 障害程度 (人)

支援費区分(非該当)					障害程度区分(平均区分5.4)						
	A	B	C	計	6	5	4	3	2	1	計
男					9	14	2	0	0	0	25
女					15	10	1	0	0	0	26
計					24	24	3	0	0	0	51

4. 会議報告

(1) 法人関係

会議名	回数	開催日	参加者
施設長会議	5	4/16 6/18 8/20 12/17 2/18	施設長
事務担当者会議	1	4/16	施設長 事務員
葛飾地区施設長会議	12	4/11 5/16 6/16 7/11 8/8 9/12 10/10 11/14 12/12 1/16 2/6 3/13	施設長
葛飾地区第三者委員会	12	4/10 5/8 6/5 7/7 8/5 9/1 10/2 11/5 12/2 1/6 2/2 3/2	施設長
葛飾地区役職者会議	3	5/7 10/20 3/2	施設長 係長他
法人後援会	2	7/8 12/2	施設長

(2) 施設関係

会議名	回数	開催日	参加者
職員会議	9	4/26 5/24 6/20 7/19 9/11 11/21 12/27 1/10 3/7	全職員
献立会議	12	4/11 5/16 6/13 7/16 8/8 9/12 10/17 11/14 12/11 1/20 2/16 3/16	栄養士 看護師 施設長 職員
運営会議	12	4/17 5/20 6/2 6/17 8/21 9/13 9/29 10/20 11/21 12/5 12/25 3/18	施設長 係長 事務員
役職リーダー会議		毎週金曜日	主任 リーダー
ケア会議		随時	
業務改善委員会	1	11/10	リーダー 職員

(3) 東京都社会福祉協議会

会議名	回数	開催日	参加者
部会役員会・幹事会	12	4/9 5/14 6/11 7/9 8/6 9/10 10/15 11/12 12/10 1/14 2/4 3/11	施設長
部会総会	2	5/21 1/28	施設長
部会全体会	1	6/27	施設長
都通研合同学習会	1	12/12	施設長
従事者共済会代議員会	3	5/19 8/5 10/16	施設長
東京大集会	1	9/8	施設長
支援困難事例対応研修	6	5/8 10/9 11/20 12/18 1/15 2/19	施設長

(4) 区

会議名	回数	開催日	参加者
区内事業所施設長会	1	3/10	施設長 係長
入所調整会議	2	10/9 1/22	係長
相談支援実務者研修	17	4/10 4/17 4/24 5/8 5/22 6/12 6/26 7/10 7/24 8/21 9/3 9/11 10/12 10/23 11/13 11/27 1/22	施設長 係長

(5) その他

会議名	回数	開催日	参加者
町会総会	1	4/27	施設長 係長
町会新年会	1	1/25	施設長 係長
地域ふるさと祭打合せ	5	4/3 5/8 6/12 7/10 8/5	係長
ふるさと祭り	3	8/1.2.3	職員

町会合同防災訓練	1	10/25 11/8	職員 係長
----------	---	------------	-------

5. 研修報告

(1) 施設内

研修名	回数	開催日	参加者
地区活動キックオフ	1	4/30	全職員
障害福祉課出前講座	1	6/20	全職員
福祉ベーシック研修	3	7/1 9/2 11/5	職員
グループホーム交換研修	1	8/8	職員
危険予知トレーニング	6	8/13 9/10 10/8 11/12 11/26 12/10	全職員
区福祉課長講演	1	8/14	全職員
地区理念B研修	1	9/9	全職員
グループ交換研修	1	11/4	職員
音楽療法	1	3/10	全職員

(2) 法人研修

研修名	回数	開催日	参加者
新任役職者（主任）研修	1	4/15	主任
新任職員人事制度研修	1	4/22	職員
地区キックオフ研修	1	4/30	職員
新任リーダー研修	1	5/9	職員
地区リスクA研修	1	5/30	職員
考課者研修	3	6/3 6/30 9/3	主任 係長
クレーム対応研修（リスマネD）	1	6/7	職員
新任中途採用者研修	1	6/9	施設長
法人虐待防止研修	2	6/23 1/27	施設長 職員
地区接遇A研修	1	7/4	職員
法人接遇Cマナー研修	1	7/29	職員
リスクマネジメントB	1	8/15	主任
施設長研修他	5	4/16 6/18 8/20 12/17 2/18	施設長
新任フォローアップ研修	5	9/10 9/30 10/9 10/22 12/5	職員 施設長
ダイアログ研修	6	9/5 9/22 9/26 10/1 10/24 10/29	職員
リスクマネジャーF養成研修	1	10/4	職員
法人事務員研修	1	10/20	事務員
法人看護師研修	1	10/28	看護師
法人栄養士研修	1	10/31	施設長 栄養士
地区接遇B研修	1	11/10	職員
法人セミナー	1	11/15	全職員
地区リスクマネジメントC	1	12/5	職員
ストレスマネジメント研修	1	2/6	職員
地区地域啓発事業	1	1/23	職員
地区実践事例報告会	1	2/21	全職員
地区理念B研修	1	3/3	職員
府中刑務所見学会	1	3/6	施設長
係長多面評価	1	3/12	係長
新任職員研修	3	3/25-27	施設長 職員 (1)

(3) 外部研修

研修名	回数	開催日	参加者
呼吸循環器疾患の栄養サポート	1	4/12	栄養士 看護師
第三者評価者フォローアップ研修	3	4/23 6/19 6/26	施設長
東社協入所施設研修会	2	5/21 1/28	施設長
都通研研修会	1	5/23	施設長
障害者虐待の根源を探る	1	5/28	職員 (1)
東社協新任職員研修	4	6/13.14 11/25 2/23	職員 (1)
摂食嚥下・ソフト食	1	6/14	職員 (1)
知的障害者に対する食事支援	1	6/14	栄養士
医療の基礎知識	1	6/21	主任
メンタルヘルス推進リーダー養成研修	3	6/21 8/21.26	係長
サービス管理責任者研修	2	6/24.25	職員
摂食嚥下機能への対応	1	6/27	職員 栄養士
文京盲学校・学校公開	1	6/27	職員
相談支援者養成研修	3	7/1.4.5	主任
困難事例問題解決アプローチ	1	7/16	係長
福祉会計基礎研修	1	7/24	主任
防火管理者研修	2	7/26・27	主任
相談支援従事者現任研修	5	9/4 9/11.12 9/25.26	施設長 係長
中堅職員人材養成研修	2	9/17.18	職員
発達障害支援者養成研修	3	9/25 10/25.26	職員
摂食・嚥下障害の評価と対応	1	9/25	職員
自閉症セミナー	2	9/27.28	職員
自閉症学習会	2	10/25.26	職員
労働基準法基礎研修	1	10/30	主任
栄養診断による栄養指導	1	11/12	栄養士
東社協経営研修会	1	11/19	施設長
アンガーマネジメント	1	11/28	職員
施設会計実務研修	1	11/29	事務員
相談支援従事者養成研修	2	1/7.8	主任
鹿本学園学校公開	1	2/13	係長
東京都事業者説明会	1	3/25	施設長

6. 保守点検及び修繕報告

(1) 建物維持管理及び保守点検関係

夜間及び休業日については施設が無人となるため、建物警備に関し専門業者と機械警備契約を結んでいる。また、地元町会へ会議室等の貸し出しがある為、2種類の警備方式を設定している。

建物全体は築13年目であるが、大きな修繕等はなく以下の通り通常の建物維持契約の範囲で保守点検等を実施した。ただし、空調機器の老朽化に伴う更新、荒天時の建物事務所西側の壁と床の間からの漏水に対応した屋上の防水加工や外壁再塗装等の補修工事は大きな検討課題である。

建物管理月次内容

	実施内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
機 械 設 備	冷暖房機器		○						○				
	天井換気扇		○						○				
	ガス給湯器		○						○				
	加圧ポンプ		○						○				

	キュービクル		○		○		○		○		○		○
定期清掃	床ワックス	○		○		○		○		○			
	床剥離											○	
	窓ガラス					○						○	
	グリストラップ		○			○			○			○	
	屋上	○				○				○		○	
	流し台	○		○		○		○		○		○	
	厨房用換気ファン	○		○		○		○		○		○	
特別清掃	照明器具							○					
	天井・壁面							○					
	サッシ					○							
	排水溝・倉庫							○					
	空気吹出口・換気扇							○					
	沈砂槽・雨水槽							○					
その他	ブラインド							○					
	自動ドア								○				
	シャッター						○					○	
	エレベーター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話装置					○							
	害虫駆除			○				○					
	消防設備						○					○	
	植栽剪定・消毒			○			○						
排水管高圧洗浄						○							

*毎営業日の館内清掃は平成25年度から同一業者に委託している。

(2) 車輛保守点検

常時整備された状態で使用する等、日頃から点検業務に努めた他、職員の安全運転教育を徹底することで事故防止に努めた。

7. 固定資産物品・備品購入

購入備品一覧	数量	金額
厨房用流し台	1	133,326
厨房用ガステーブル	2	223,074
合 計		356,400

8. ボランティア受け入れ

年間を通じ受け入れを行った。平成26年度も東京都立農産高校から園芸活動を中心とした学生ボランティアと、福祉系専門学校生のボランティアに多く来園していただいた。特に農産高校については、くすのき祭りへの出店を承諾いただくなど、良好な関係が築けている。一般ボランティアについては、行事等のイベントで活躍いただいたが、平日の通常利用者支援についても気軽に立ち寄り、自主自発的なボランティア活動が行えるよう、実践報告や雰囲気作りに努めたい。

月	定 期	不定期	月	定 期	不定期	月	定 期	不定期
4	0	2	8	0	3	12	0	6
5	0	13	9	0	15	1	0	4
6	0	15	10	0	64	2	0	9
7	0	13	11	0	0	3	0	3
小計	0	43	小計	0	82	小計	0	22

9. 実習生受け入れ

本年度の受け入れ実績については下表のとおり。新年度も積極的な受け入れを行いたい。

受入月日	要請施設・団体	人数
6/23～7/4 7/11～7/25	東京医療秘書専門学校	3
7/22～8/7	東京福祉大学	1
9/1～9/17	聖徳大学短期大学	2
5/7～7/16の毎水曜日	道灌山学園保育福祉専門学校	7
12/1～12/5	双葉中学校（職場体験）	2
H27/3/5～3/20	篠原保育医療情報専門学校	1
6/23～7/4 H27/2/23～3/7	千葉経済大学短期大学部	1

10. 地域交流計画及び行事計画

(1) 地域交流行事

①「アロマルーム」 3月7日（土）10：30～12：00

昨年に引き続き、地域の方に声をおかけして、施設内で利用者と合同でアロマによるリラクゼーションを楽しむ機会をもうけた。参加いただいたお客様から好評をいただいた。

②「第13回くすのき祭」 10月18日（土）11：00～15：00

例年通り行事を通して地域の方にくすのき園を知ってもらう企画とした。昨年同様、保護者会に全面協力を要請することで、土曜登園日として設定した。職員が利用者支援を行うために、行事運営人員を最低限にし、企画内容の縮小で対応した。当日は保護者も含めてボランティア要員が充足できたこと、昨年に引き続き2年目であったことから、利用者はゆったりと祭りに参加することができた。

(2) 年間行事

①宿泊旅行 9/5-6 9/19-20（2回とも行先は横浜～富浦方面）

前年度に続いて2グループに分かれ土曜日登園を活用、1回につき大型バス2台で実施した（旅行不参加グループは当日は欠席）。大きな集団のため、複数回にわたる職員負担が解消されるとともに、実施時の職員協力体制は十分に取れ、概ね好評を得た。旅程が千葉と横浜を往復するプランとなり、保護者から効率性が悪いとのご指摘をいただき、今後の課題とした。

②クリスマス会 12月19日（金）10：30～11：30

午前中に実施する形態とした。今年度も、20人以上の保護者と利用者・職員による合同のダンスレクリエーションとした。毎年好評のプレゼントとクリスマス給食は本年も利用者には大変好評であった。当園シンボルツリーである「くすのき」に電飾を施し、雰囲気を楽しんだ。

③新年会（餅つき・獅子舞）平成27年1月10日（土）10：45～11：45

送迎委託業者の協力を得て利用者全員が餅つきを行った。冬期長期休業の後だったが、にこやかな笑顔が見られ新年にふさわしい行事となった。ついたお餅はティータイム時にお汁粉として提供した。今年度は該当者がいなかったため、新成人を祝う会は未実施とした。

11. 防災避難訓練計画

雨天等で毎月の実施はできなかったが、火災による避難訓練を中心に実施した。主な訓練内容は通報・消火・避難誘導・避難経路状況把握といった一連の流れを訓練する「通報・避難訓練」を行った。また今年度は、日頃から会議室や活動室等の施設貸し出しや資源回収、地域祭礼等で良好な関わりのある地元町会（仁隣町会）との災害時防災協定を締結することができた。

12. 給食

(1) 年間計画に基づき実施した。利用者の摂食・嚥下状況に応じた食形態は、やわらか食、ペースト、一口大の3種で、栄養士、看護師、支援員が協働、委託業者の協力を得て提供した。

- ①主食セレクト 月に1回の割合でごはんまたはロールパンのセレクトを実施した。
- ②主菜セレクト 3ヶ月に1回の割合で実施した。
- ③行事食 年間7回（入所式、クリスマス等）
- ④お楽しみ給食 都合4回(6月2回、11月2回)実施した。1階グループはフルコース形式、2階グループはバイキング形式を採用し、利用者には大変好評だった。

(2) 残菜・嗜好調査 12月、3月に予定通り実施した。

(3) 保護者対象試食会 年度年初は計画していたが、栄養士の法人内新規事業所への出向等のため今年度の実施は見合わせた。

13. 保健

(1) 日常の健康管理

日常の利用者健康管理を看護師が中心に行った他、嘱託医が定期的に来園し、看護師と共に施設内を巡回し、利用者健康状態の把握に努めた。

(2) 内科・精神科嘱託医による施設内巡回及び健康相談

来園日は看護師と共に施設内を巡回し、利用者の健康チェックを行った。この他、家族からの相談、インフルエンザ予防接種（利用者・職員）を行った。管理栄養士との合同相談では、栄養指導も併せて行うことにより、利用者の肥満対策に大変効果があった。ご家族自身の相談を受けることもあり、専門家からのアドバイスに感謝の声をいただいている。今年度は内科嘱託医が健康上の理由により、変更となった。

(3) 定期健康診断

4月15日（火）、16日（水）に、葛飾健診センターの協力を受け施設内で総合健診を実施した。結果を家庭に報告すると共に2次検診が必要な方については、それぞれの家庭の判断で行っていただいた。その他、検便による細菌検査及びO-157検査を全利用者対象に行った。

(4) 歯科検診

6月4日（水）、12月3日（水）の2回、嘱託歯科医師により施設内で実施した。終了後、医師から表彰対象者の推薦をうけ、数名に表彰状を授与した。

(5) 摂食・嚥下指導

歯科検診とは別に、嚥下状態の検査（内視鏡VE検査）を訪問診療という形態で実施した。ご家族の付き添いをお願いし、施設内で実施したが、職員にとっては「咀嚼と嚥下」に関する学習の機会となり大変有効であった。

14. 業務委託等（給食・送迎）

(1) 給食（葉隠勇進株式会社）

利用者および施設の細かい要望等を取り入れた給食を提供した。平成27年度は契約更新時に改めてプロポーザル形式による入札を実施予定である。

(2) 利用者送迎（株式会社宮園福祉）

日常の送迎については利用者及び送迎時間に大きな影響が出ることはなかった。一日外出では主に施設公用車の運転を行う他、区内ショートステイの送迎を行った。

運転手（5人）は、玄関周りの清掃や、小破修理等で協力を行ってくれた。添乗員（4人）については、利用者支援のサポートに入る他、食堂の清掃を行った。平成27年度は契約更新時に改めて入札を実施予定である。

(3) 館内日常清掃

ワックスがけ等の館内定期清掃及び日常清掃について、委託業者により実施した。また、一部のトイレ清掃を就労支援の一環できね川福祉作業所の利用者に依頼した。

(4) 講師

①理学療法士：年間47回

計画通り利用者の機能訓練を行った。施術時間及び該当利用者人数の関係から1回あたりの利用者数は、該当利用者の半数であったが、大きな混乱なく実施できた。職員指導も適宜行った。

②音楽療法士：年間46回 火曜日・金曜日（音楽療法）

知的障害者への音楽療法は、心の安定や自己表現の表出援助につながっており、楽しみにしている利用者も多い。情緒の安定に寄与する音楽の特性を生かした取り組みは、今後ますます重要となる。

以上